

2019年 障害児教育の充実を求める

「神奈川県議会署名」と「教育全国署名」にご協力をお願いします。

今年も全国各地で、教育要求実現をめざす運動がくりひろげられています。神奈川県でも、「神奈川県議会署名（ゆきとどいた神奈川の障害児教育を求める陳情書）」と「教育全国署名（国の責任による35人以下学級の前進、教職員定数増、教育無償化教育条件の改善を求める請願書）」の2つの署名にとりくんでいます。

これらは、県立特別支援学校の教職員、保護者の方々や県内外の障害児・者団体とも力を合わせた運動としてすすめています。

障害児教育の充実のために、署名へのご協力を心よりお願いいたします。

ゆきとどいた障害児教育をすすめる神奈川県民の会
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-1 農機会展402
TEL : 045(412)5161 FAX : 045(412)5162
HP : www.shinsyokyoso.org

* 署名用紙はホームページよりダウンロードできます。



◇ 特別支援学校は小学部から 高等部までパンク状態！

神奈川県の特設支援学校では、入学を希望する生徒が増加し続け、学校が過大規模過密化し、「教室不足」「トイレ不足」「廊下で体育」「クールダウンの場所がない」など、教育活動に支障が生じています。



◇ 1つの教室をパーティションで仕切って授業をすることも！

◇ 高校に設置された分教室は専用スペースが5教室のみ！

隣の教室の授業の声・音が筒抜けに！

◇ 障害者の権利保障のための 条件整備(公的支援)を！

2016年の相模原の障害者殺傷事件を受けて策定された「ともに生きる社会かながわ憲章」で述べられている障害者の社会参加、共生社会の実現のために、公的支援による条件整備が必要です。



障害のあるすべての子どもたちに 当たり前な教育環境を！

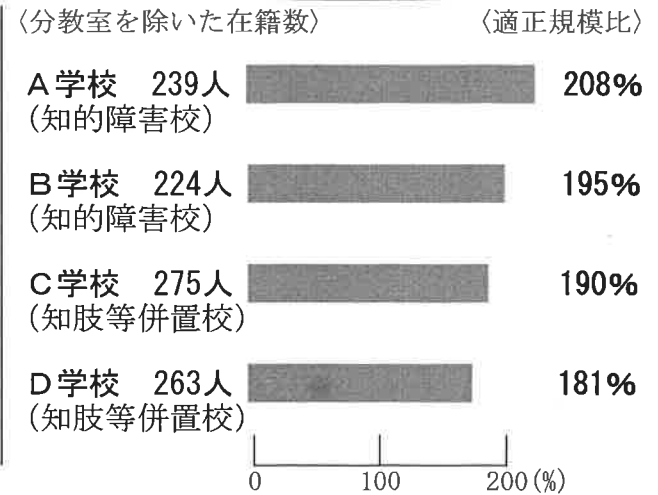
適正規模を超える 県立特別支援学校は 28校中18校！

※「適正規模」とは...

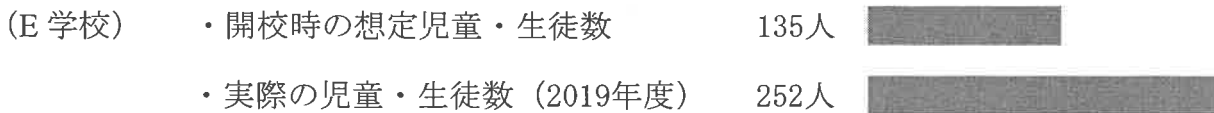
県教育委員会設置「新たな養護学校再編整備検討協議会」の報告（2006年3月）は、特別支援学校の適正規模について次のように提言しています。

学校の種別	児童生徒数の基準
知的障害部門の単独特別支援学校	100～130人程度
知的障害・肢体不自由等の併置校	130～160人程度

特別支援学校の児童生徒在籍状況（今年度）



開校時の想定児童・生徒数を大幅に上回る学校も！



こんなに子どもたちが多くと教室の数が足りなくなるのは当たり前ね。

こんな状態がもう20年も続いているなんておかしいわ。

廊下で体育をやったり、トイレが不足したりもしてるんだよ。

学校をふやして、早く当たり前の教育環境に戻してほしい。



秦野養護学校末広校舎は 1つの教室をパーティションで仕切って2教室に！ 隣のクラスの授業（音楽など）の声・音が筒抜けに！

（秦野養護学校末広校舎は、知的障害教育部門小中学部の児童生徒を対象として、2016年度に、秦野市立末広小学校の北棟を借用して開設されました。今年度は29名の児童・生徒が通学しています）

- ◇ 特別教室は「プレイルーム」1つだけで、自前の体育館、グラウンドがありません。末広小学校のグラウンド等を借用することにはなっていますが、手薄な教職員配置等のため実際は利用することが困難で、十分に使用できません。
- ◇ 小学部の体づくりは**近所の広場**で実施しています。
- ◇ **音楽**の授業も普通教室で行っています。
- ◇ プール・集会はスクールバスで**本校に移動**しています。

こんなことが起こっているなんて知らなかったわ！



ふつうの学校でこんなことはあり得ないよ。一刻も早く改善しないとイケないね。

